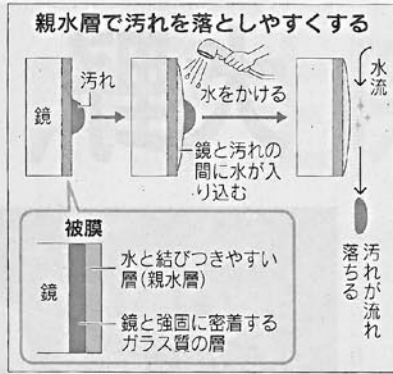


# コーティング剤 家庭向け参入

## クリスタルプロセス 鏡や窓 汚れにくく

研磨剤・コーティング剤を手掛けるクリスタルプロセス(広島県東広島市)は家庭向け商品に本格参入する。浴室の鏡やガラス窓などに使うことで汚れにくくするコーティング剤を開発、今秋にも発売する。新商品をテコに専門業者向けの他の商品と合わせて年間5品目前後を投入し、知名度を高める。5年後の売上高を3倍強の10億円程度に伸ばしたい考えだ。

## 業務用も開発加速 年商10億円めざす



開発した「親水コーティング剤」は汚れにくく、曇りにくさが最大で1年程度持続するほか、既存の鏡やガラスに手軽に塗れるのが特徴。生産工程のなかで特殊な加工を施すものや、後からフィルムを貼る競合品に比べて持続力が高く、使い勝手が良いという。まず下処理剤で汚れを落とすため、鏡の表面にコーティング剤を塗り込む。ドライヤーで乾かすと、水と結びつきやすい特殊な被膜を作る。染みなどの汚れが付着しても、水を流せば汚れと鏡の微細な隙間に水が入り込み、汚れが浮き上がり流れ落ちる仕組み。薄い水の膜が張られた状態になり、曇りにくい。

開発にあたってはカタ

生産面では外注を活用して

コーティング剤や研磨剤を

拡販していく(広島県東広

島市)

ツムリの殻や魚のうろこなど、自然に汚れが落ちる動物の表面の構造を参考にした。試行錯誤の結果、鏡に強力に付着するための液体ガラスの性質と、水と結びつきやすい強力な被膜が表面に作れる性質を両立させるような液剤を編み出した。

家庭向けは30ミリの液剤とスポンジのセットで2000円前後になる見通し。小売店などに卸すほか、清掃を手掛ける専門業者にも売り込む。

今秋には自動車や電車、バスなどの車体向けに、はっ水性を高めたコーティング剤も投入する。ダイヤモンドの粒子を配合することでハスの葉のような微細な突起を作り出せるようにした。

2014年12月には、自社開発した研磨剤やコーティング剤の使用法を納入先に実技指導するためのテクニカルセンターを設立。これまで欧州を中心に約20カ国の取引先が利用した。単に道具を売るだけでなく、使い方をサポートして拡販して

いく。同センターでは個人の自動車向けコーティングサービスも手掛け、知名度の向上を狙う。

クリスタルプロセスは1994年に秋吉一介社長が創業。2015年7月期の売上高は約3億円だった。足元の生産は外

部委託を活用している。売上高を伸ばしながら順次自社拠点を拡大し、内製化を進めたい考え。売上高を10億円規模に引き上げるのに合わせ、現在17人の本部従業員を50人まで増やしていく方針だ。